



経済9.11面
国際13面
金融情報16.17面
生活18.23面
スポーツ24.25.27面
小説28面
囲碁・将棋28面
地域30.31面/教育33面
TV・ラジオ28.29.40面

朝日新聞大阪本社
発行所:〒530-8211大阪府北区中之島3-2-4
電話:06-6231-0131 www.asahi.com

生きて証し 伝えて

県内で初、遺品整理士

亡くなった人の遺品を整理する「遺品整理士」の資格を県内で初めて、橿原市葛本町の運送会社社長、長澤昭さん(67)が取得した。孤独死が増える中、遺品整理をめぐるトラブルも少なくないため、業界健全化を促すべく定められた資格だ。

運送会社社長の長澤さん



遺品整理士の認定書を持つ長澤昭さん(天理市西長柄町)

亡くなった方の最期の声聞く仕事

長澤さんは約2年前から、運送業の傍ら、遺品整理の仕事に請け負うようになった。家に入ると真っ先に仏壇に手を合わせ、30分ほど遺族と会話をする。生前の様子や人柄、趣味……。「亡くなった方の最期の声を聞く仕事。幸せな人生を送っていたと聞くと、ほっとする」

天寿を全うした人だけではない。時には自殺や孤独死した人の遺品を担当することもある。仕事を通して、その人の人生を体感したような気持ちになるという。

基本的には遺品を持ち帰って処分するが、着物や絵本など思い出が残っているようなものは依頼者に確認する。以前、節句人形を捨てるよう言われたことがあったが、「これはお子さんの成長を祈って買ったもの。もらい手を探るか、供養して下さい」と諭した。「親の思いのこもったものを『ゴミ』と片づけるのは納得いきませぬ」

遺品整理士ってどんな資格？

遺品整理をめぐるのは、廃棄物処理業者やリサイクル業者、運送業者が行う場合が多いが、明確な基準や法律がないため、遺品を不法投棄したり、高額請求したりするなどのトラブルもある。

業界の健全化のため、2011年9月に設立された一般社団法人「遺品整理士認定協会」(北海道千歳市)が遺品整理士の認定試験を始めた。テキストやDVDで廃棄物処理法や家電リサイクル法などの法規制や心構えについて学

孤独死増え、高まる需要

び、試験で7割以上を取ると合格する。これまでに全国で106人が受け、71人が合格している。

さだまさし原作で昨年11月に公開された映画「アントキノイノチ」は、遺品整理業で働く若者の心の交流を描いた。協会担当者は「孤独死の増加に伴い、需要が高まっている。業界の健全化と認知に努めたい」と話している。問い合わせは協会(0123・42・0528)へ。(伊藤あかり)

一方、三記など近親者に見られたくないと思われたいものは「ここ」で処分することもある。

資格の存在を知ったのは昨年末。資格を取ることによって顧客に安心感を与えたいとすぐに申し込んだ。「追加でお金はいかないよね?」「不用品をその辺に捨てたりしないよね?」。見積もりに行った先で何度も問われたことがあるためだ。今年2月に合格した。

論文で「供養」について「遺族、故人の今後を幸せにするためのもの」と持論を展開するなどし、10点満点中8点で合格。「よく調べ、考えている」と協会のお墨付きをもらった。「死

んだら、もの言われへんからね。生きて証しを伝える仕事。すごく尊い仕事させてもらってます」

遺品整理は1LDKで9万円が目安。問い合わせは長澤運送(天理市、0120・14・1178)へ。